

令和 7 年 9 月 30 日
内閣府地方創生推進事務局

「令和 7 年度 先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革 に関する調査事業（追加募集）」の採択結果について

スーパーシティ、デジタル田園健康特区、連携“絆”特区、金融・資産運用特区において、先端的サービスの開発・構築を進めるとともに、その実装に必要な規制・制度改革の実現に向け、「先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革に関する調査事業（追加募集）」の企画競争公募を実施しました。

今般、外部有識者で構成された審査委員会による審査の結果を踏まえ、採択事業を選定したのでお知らせいたします。

（添付資料）

別添 1：採択結果一覧及び概要

別添 2：審査委員一覧

【問合せ先】

内閣府 地方創生推進事務局 国家戦略特区担当
電話：03-5510-2463（直通）

項番	事業名	関連する自治体
1	自律飛行型の空飛ぶクルマのルート設定手順に関する調査	デジタル田園健康特区 (加賀市)
2	特定実験試験局の使用可能地域見直しに向けた調査	連携“絆”特区 (福島県)
3	新しい交通システムの公道外における 運行に必要な設備に係る技術基準の整備に関する調査	連携“絆”特区 (福島県)

【デジタル田園健康特区（加賀市）】

自律飛行型の空飛ぶクルマのルート設定手順に関する調査

■事業概要

自律飛行型の空飛ぶクルマについて、地域のニーズに即した飛行経路を設定できる制度の確立に向け、ユースケースを想定したルート案の策定、住民へのヒアリングや地形・障害物等の情報を踏まえたルート案の見直し、ドローン等を用いた実証飛行による検証等を通して、飛行経路の設定や検証の手法等について検討を行う。

■規制・制度改革事項

計器飛行方式により飛行する航空機向けの経路（IFR経路）を地域のニーズに即して設定できる制度の確立（航空保安業務処理規程）等
※計器飛行方式：パイロットの目視によらない飛行方式

■事業実施体制

（代表者）日本航空株式会社
（構成員）株式会社トラジェクトリー

【連携“絆”特区（福島県）】

新しい交通システムの公道外における 運行に必要な設備に係る技術基準の整備に関する調査

■事業概要

道路上空を走行可能な、索道とモノレールの特徴を融合させた新交通システムについて、公道外（公園、商業施設内、空港内等）における運行に係る設備の技術基準の整備に向けて検討を行う。

■規制・制度改革事項

新しい交通システムの公道外における運行に係る設備の技術基準の整備（建築基準法、建築基準法施行令、国土交通省告示）等

■事業実施体制

（代表者）Zip Infrastructure株式会社
（構成員）株式会社長大

【連携“絆”特区（福島県）】

特定実験試験局の使用可能地域見直しに向けた調査

■事業概要

安定した画像伝送や通信制御が可能な周波数帯（5.8GHz帯）の上空でのドローンの利用について、電波干渉の懸念から利用エリアが限定されているところ、より広範なエリアでのドローンの利用に向けて、飛行実証による電波干渉の影響度合いの調査等を通して、5.8GHz帯の上空利用が可能となる要件等の検討を行う。

■規制・制度改革事項

特定実験試験局の使用可能地域の見直し（令和6年総務省告示第352号）等

■事業実施体制

（代表者）株式会社日立製作所
（構成員）国立大学法人室蘭工業大学
（協力機関）日本無人機運航管理コンソーシアム、
国立大学法人東京大学、福島ロボットテストフィールド

別添 2

審査委員一覧

所属名及び役職名等	氏名（敬称略・五十音順）
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士	表 大祐
一般財団法人日本情報経済社会推進協会 常務理事	坂下 哲也
駒澤大学文学部地理学科 准教授	瀬戸 寿一
富山大学学術研究部都市デザイン学科 准教授	高柳 百合子
東京科学大学医療イノベーション機構 特任教授	藤本 康二